

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2024 助成の概要と推薦理由

助成番号 24-2-3

プロジェクタ名 メタバース空間を活用した病気や障害のある子ども
の復学支援プログラム「チャーミングケアブレー
ン」の構築とコミュニティづくり

団体名 一般社団法人 チャーミングケア

代表者名 石嶋 瑞穂

所在地 大阪府

助成額 181万円

助成期間 2024年7月1日～2025年6月30日

設立年 2018年

URL <https://charmingcare.jp/>



小児がんの治療や医療的ケアは進んでいるが、病気による見た目ケア（アピアランスケア）に関しては公的にも支援がほとんどなく、また支援の必要性も知られていない。大人が考えている以上に子どもたちは自分の見た目（浮腫み、脱毛、医療的機器の装着など）を気にしているが、医療者も親も治療を優先してしまい、サポートが行き届いていない。たとえサポートがあったとしても子どもの声が反映されておらず、ニーズに叶っていないこともある。

2023年の助成1年目は、外見を気にせず安心と安全を担保できる子どもコミュニティづくりのため、「メタバース」によるホームベース「メタバースワールド」を制作。コミュニティ管理人がワールドに在中し、お話し会やミーティングを開催し、病児のみならず、きょうだいの参加もみられた。また、リアルでつながるための交流会として、近隣店舗と連携した職業体験も実施した。

メタバースワールドを運用した結果、病気や障害のある子どもたちからの声として多かったのが「復学」に関するニーズだった。そのため、今回の助成では、メタバースワールドを活用し、病気や障害のある子どもたちの「復学」をサポートするプログラム「チャーミングケアブレーン」を開発・運用する。団体スタッフを対象としたプログラムの研修を行い、子ども一人ひとりと対話を行うことで子どもの強みを発見し、子ども自身の自主性を高め、自己肯定感を得られるようにスマイルステップで復学をサポートしていく。

メタバース空間は長期療養の子ども達の支援方法として、今後は重要な手法の一つになるとを考えられる。オンラインの企画とメタバース空間の運用を並走させ、子どもたちにとっての居場所が広がるよう期待する。